

# 大阪公立大学大学院 都市経営研究科 都市経営専攻 博士前期課程 医療・福祉イノベーション経営コース 2025 年度学生募集(冬季)の概要

2024 年 8 月

2018 年 4 月に開設された大阪市立大学大学院都市経営研究科は、2022 年 4 月から大阪公立大学大学院都市経営研究科として、2009-17 年度に大阪市立大学経営学研究科で約 90 名が受講した社会人プロジェクト研究「医療・福祉イノベーション経営」を発展的に継承し、医療・福祉組織のイノベーション経営を研究する社会人大学院生を募集しています。

先例のない高齢社会を迎えたわが国の医療機関や社会福祉事業者、市民公益団体は、業務・活動の質・安全・効率性の向上、実践知に富む高度専門人材の育成・確保、患者・利用者価値の向上、地域医療・福祉の拡充など、多数の複雑な経営課題への並行的な取り組みを求められています。本コースではこうした諸課題の達成に資するイノベーション(業務・組織革新)を実現する医療・福祉組織の経営モデルを、各受講生が勤務先組織で実践しつつ研究(アクション・リサーチ)します。ほかに、受講生が勤務する医療・社会福祉現場の諸問題を研究して修士論文を作成することもできます。

医療分野では法人理事・医師・保健師・助産師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・診療放射線技師・管理栄養士・その他のコメディカル・事務部門管理職、社会福祉分野では社会福祉・NPO 法人理事・施設長・社会福祉士・精神保健福祉士・保育士・ケアマネージャー・事務部門管理職など、医療・福祉の現場からイノベーションと経営革新を実現する強い意欲をもつ現任管理・経営・専門職の方々の積極的な応募を期待します。

◆本概要は 2024 年 8 月現在の予定であり、今後変更になる可能性があります。学生募集要項と出願書類様式等は、大阪公立大学入試情報サイト <https://www.omu.ac.jp/admissions/g/> (「入試情報」>「研究科別選抜情報」>「都市経営研究科」)から入手できます。

入学時期・1 学年あたりコース標準履修者数：2025 年 4 月入学・14 名程度を想定

(※試験の成績により、合格者数が募集定員・標準履修者数に達しない場合があります。)

開講日時：主に 4-7 月(前期)および 10-1 月(後期)の毎週 2 日夜間(17:30-21:20)および土曜昼間(9:30-17:20)

◆当コース指定科目は、1 年次前期は火曜夜間と土曜昼間、1 年次後期以降は火曜夜間と金曜夜間に開講予定。

開講場所：大阪公立大学 梅田サテライト (大阪市北区梅田 1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6階)

修了条件：2 年間以上在籍し、基礎科目 4 単位(「研究公正 A(都市経営)」を含む)、中核科目の講義系科目 6 単位、中核科目の演習系科目 6 単位、関連科目 3 単位、基礎・中核・関連科目から 8 単位、研究指導科目 4 単位を含む、合計 31 単位以上を修得し、必要な研究指導を受け、修士論文ないしリサーチペーパーを提出し、最終試験に合格すること。

◆2025 年度学費等(予定):授業料年額 535,800 円・入学金 382,000 円(大阪府民及びその子 282,000 円)

取得可能学位：修士(都市経営)

選抜方法(社会人一般選抜)：口述試験の成績及び出願書類の内容を総合して行います。

出願資格(社会人一般選抜)：概ね 3 年以上の社会的経験を有する大学卒業者

◆保健師・助産師・看護師・臨床検査技師・診療放射線技師・理学療法士・作業療法士・臨床工学技士等として指導的役職の経験を有し、学士の学位をもたない方は、本研究科で「出願資格認定」を受けることにより出願できます。希望者は学生募集要項に従って 2024 年 12 月 6 日(金)(必着)までに必要書類を簡易書留で郵送してください。

冬季募集 出願書類提出期間：2025 年 1 月 6 日(月) ~ 2025 年 1 月 14 日(火)

(※ 1 月 14 日(火)までの消印有効。出願書類提出前に、インターネットによる出願登録が必要です。)

冬季募集 口述試験：2025 年 2 月 15 日(土) 大阪公立大学梅田サテライト (予定)

(※上記日程で試験実施が困難になった場合、2 月 16 日(日)を予備日とし、杉本キャンパスで口述試験を実施します。)

コースカリキュラム例 (予定。修士論文を作成する場合は追加の研究指導をうける必要があります。)

	1 年次(M1)前期 (4-7 月)		1 年次(M1)後期 (10-1 月)		2 年次(M2)前期 (4-7 月)		2 年次(M2)後期 (10-1 月)	
	火曜	土曜	火曜	金曜	火曜	金曜	火曜	金曜
17:30-18:20	(選択)	09:30-17:20 に基礎科目(指定)を履修(ミクロ経済論、公共経営論、行政組織論、経営学概論、企業変革論、都市地域社会調査分析、経営倫理等)	医療/福祉イノベーション経営	知識創造組織	研究指導 1	医療/福祉イノベーション経営ワークショップ	研究指導 2	研究指導 2
18:30-19:20	イノベーションマネジメント論				(選択)			
19:30-20:20	課題演習 1		課題演習 2	地域福祉社会論	(選択)	(選択)	研究指導 2	
20:30-21:20				共生社会と医療倫理	(選択)	(選択)		

他に、次のコース指定集中講義科目を土日曜・夏/冬季休業期間に履修：M1 前期(研究方法論、研究公正 A(都市経営)、イノベーション経営演習(リーダーシップ)1)；M1 後期(医療・福祉経営倫理演習 1、イノベーション経営演習(リスクマネジメント)1)；M2 前期(イノベーション経営演習(リーダーシップ)2、ダイバーシティスタディーズ、職域健康増進)；M2 後期(医療・福祉経営倫理演習 2、イノベーション経営演習(リスクマネジメント)2)

主なコース推奨中核講義・演習科目の概要 (予定)

医療・福祉イノベーション経営課題演習	知識経営、専門職・ヒューマンサービス組織、省察的实践、高信頼性組織、状況的学習等の視点から、わが国の医療・福祉組織の課題を分析し、患者・利用者に新たな価値を提供するイノベーションと人材育成を軸とする、医療・福祉組織の持続可能なイノベーション経営に関する文献の輪読・講読、受講者の研究報告、フィールドワーク等を行う。
イノベーションマネジメント論	イノベーションに関する基礎概念を理解した上で、近年の社会経済環境の変化に対応するための変革能力、最新のイノベーション理論について学ぶ。
医療イノベーション経営	医療政策・制度と医学・医療技術の発展と展望、医療事業の経営分析、医療組織のガバナンス、地域医療連携、患者満足向上、医療の質・安全保証とチーム医療、医療情報システム、医療人材の育成と評価・動機づけ等を学ぶ。
福祉イノベーション経営	社会福祉政策・制度の発展と展望、福祉人材の育成と評価・動機づけ、居住福祉・地域福祉の現状と課題、非営利組織の経営課題と社会福祉法人の社会貢献事業等を学ぶ。
知識創造組織	官僚制研究、非公式組織研究、組織のオープンシステムアプローチ、組織文化・学習研究、新制度派組織研究等の基礎概念を理解した上で、知識創造型組織の理論と実践、組織変革のためのアクション・リサーチについて学ぶ。
共生社会と医療倫理	人権・社会教育・多文化共生社会の社会学と医療倫理、専門職倫理等の分野における国内外の主要な関連諸研究と先進・示唆的实践を紹介し、多文化共生社会における医療の新たな可能性について理解を拡げ深めていく。
地域福祉社会論	医療・福祉社会学の重要トピックである苦悩(suffering)という概念に着目し、主に、人間の苦悩と構造的暴力、医療により癒されない患者の苦悩、病いの語り、語りえぬこと、医療者の苦悩、医師の役割意識と苦悩、多職種連携、摂食障害、認知症、在宅医療、障害者などについて学ぶ。
医療イノベーション経営ワークショップ	医療政策・制度と医学・医療技術の発展と展望、医療事業の経営分析、医療組織のガバナンス、医療の質・安全保証、医療人材の育成と評価・動機づけ、医療情報システム、患者満足向上、地域医療連携のテーマについて外部講師による講義・討議を行う。
福祉イノベーション経営ワークショップ	社会福祉政策・制度の発展と展望、社会福祉法人のガバナンス改革と社会貢献、大阪の社会福祉とアントレプレナーシップ、子ども・若者支援、地域・障がい者福祉の現状と課題、高齢者ホームのイノベーション経営のテーマについて外部講師による講義・討議を行う。一部講師は大阪府社会福祉協議会の協力を得て招聘する。
医療・福祉経営倫理演習	医療・福祉組織のイノベーション経営における経営倫理上の主要問題の基礎知識を理解すると共に、これらを熟慮し倫理的リーダーシップを発揮するために不可欠の倫理的認識力・想像力を、哲学対話、シミュレーション、演劇・映像・詩・オブジェ制作などアート技法等を用いたグループワークを通じて実践的に習得する。

受講実績・研究テーマ例 (※大阪府立大学経営学研究科社会人プロジェクト研究 2009-17 年度の実績を含む)

職種別受講者数(累計)	社会福祉分野経営管理職 49 名、看護管理者 40 名、病院・診療所等経営管理職 28 名、医師 7 名、薬剤師 7 名、その他 27 名(理学療法士、診療放射線技師、臨床工学技士、行政・産業保健師、精神保健福祉士、管理栄養士等)
研究テーマ例	医療・社会福祉法人(グループ)の法人(グループ)経営・ガバナンス・社会貢献、社会福祉施設・病院・診療所によるアウトリーチとまちづくり参画、高齢者・障がい者・児童等福祉施設・支援組織の専門人材確保・育成と利用者価値向上、病院・在宅看護・介護事業所・高齢者施設等での高度熟練看護・介護職の育成・活用・評価・処遇、自治体病院・大学病院の経営・組織改革、小規模医療・社会福祉組織の戦略提携(業務・人材)による業務改善・人材確保・育成・経営持続性向上、病院経営(事務)職、診療情報管理士、(病院・薬局)薬剤師、臨床工学技士、病院管理栄養士の新たな役割等

研究指導予定教員・専門分野 (詳細は研究科 Web <https://www.omu.ac.jp/gsum/> とパンフレット等をご覧ください。)

阿久澤麻理子(共生社会)、新ヶ江章友(地域福祉社会)、服部俊子(医療倫理)、川村尚也(知識創造組織)

お問い合わせ・説明会

本コースの講義・学習内容・入試・出願資格等に関する質問は、電子メールで随時、コース入試担当教員(川村) [kawamurat@omu.ac.jp](mailto:kawamurat@omu.ac.jp) 宛にお問い合わせ下さい。

本コースの入試説明会を下記の通り開催します。出願を検討される方は**必ず参加(対面またはオンライン)**して下さい。**各説明会前日までに、下記事項①～⑥を記載した参加申込メールを上記担当教員宛にお送り下さい。**

(2 回とも同一内容ですので、どちらかにご参加ください。オンライン開催となる場合があります。参加・開催方式によらず、希望者には終了後個別相談を行います。お知らせ頂いた個人情報(説明会の改善、日時・会場・開催方式の連絡等)に使用し厳重に管理します。)

説明会日時・場所	第 1 回: 2024 年 11 月 17 日(日) 14 時 00 分～17 時 00 分頃 (予定) 第 2 回: 2024 年 12 月 1 日(日) 14 時 00 分～17 時 00 分頃 (予定、第 1 回と同一内容) いずれも大阪公立大学杉本キャンパス学術情報総合センター1 階文化交流室 (オンライン参加可)
申込メール記載事項	①氏名(よみがな) ②勤務先種別 (例:医療機関、社会福祉法人、NPO 法人など) ③職種・役職等 (例:医師・看護師など医療職(資格名)、医療事務部門管理職、社会福祉分野法人経営・管理職など) ④大まかな経験年数 ⑤携帯電話番号 ⑥希望参加方式(対面またはオンライン)

上記説明会のどちらにも参加困難な方は、10 月 30 日(水)、11 月 16 日(土)、11 月 30 日(土)に開催される都市経営研究科入試説明会のいずれかの回(すべて同一内容)に**必ず参加**して下さい。詳細は研究科 Web <https://www.omu.ac.jp/gsum/> で確認して下さい。いずれの説明会にも参加が困難な方には、コース入試担当教員がオンラインで個別に説明しますので、上記メールアドレス宛に連絡して下さい。